【授業科目】看護研究特論　　Theory of　Advanced Nursing Research

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
杉崎 一美、大西 信行、大谷 喜美江、工藤 安史	１年次 前期	必　修	2	３０	講義	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	看護を研究する上での特殊性・理論性を理解し、信頼性、妥当性の高い研究のあり方を修得する。量的・質的研究方法の概要を理解し、看護実践にむすびつける力を修得する。学生自らの実践・関心領域の文献を系統的検索・検討レビュー、クリティークを行い、専門知識・技術の向上や開発を図るための看護実践の場における研究活動に必要な能力を修得する。授業は実務家教員（杉崎、大谷、大西、工藤）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／授業ごとにグループで振り返りを行い、ピアおよび教員からのスーパーバイズを受ける。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①③④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	① 看護における研究の役割と看護研究のあり方について述べることができる。 ② 看護研究の基礎的知識とその過程が理解でき、自分の研究テーマに活用することができる。 ③ 看護研究における文献検索と文献検討の方法について理解し、実施できる。 ④ 看護研究における倫理について述べることができる。 ⑤ 量的研究および質的研究について、種類や特徴、長所･短所、データ収集･分析方法、結果の表記･考察方法、クリテークの視点がわかる。 ⑥ 看護実践の場において研究の視点をもつことができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	シラバスの毎回の内容について指定教科書を用い、予習しておくこと（各1 時間） 毎回配布される資料を熟読し、復習をして次回の授業に臨むこと（各1 時間） 講義内容をもとに自分自身の研究課題と対応させ考えてみる（各1～2 時間） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回)（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回)（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第1回　看護における研究の役割と看護研究のあり方	杉崎
	第2回　看護研究の基礎知識と研究過程：研究課題の発見・選択、展開、評価文献検索及びクリティークの意義	大谷
	第3回　文献検索及びクリティークの方法・文献の構成、記述	大谷
	第4回　量的研究（1）目的、特徴と長所･短所、研究課題のレベル	工藤
	第5回　量的研究（2）研究デザイン、理論･概念枠組み・仮説・研究デザイン	工藤
	第6回　量的研究（3): 種類（実態調査、関連検証、因果関係検証、実験研究）それぞれの目的、方法	工藤
	第7回　量的研究（4): 量的研究の種類、データ収集	工藤
	第8回　量的研究（5): 分析方法、考察、評価	工藤
	第9回　質的研究（1): 目的、特徴と長所･短所、研究課題のレベルと質的研究デザイン 質的研究を実施する際の留意点	杉崎
	第10回　質的研究（2): 質的研究方法（事例研究、質的記述的研究、内容分析、現象学的アプローチ）	杉崎
	第11回　質的研究（3): 質的研究方法（ＧＴＡ、Ｍ－ＧＴＡ、質的統合法、ＳＣＡＴ）	杉崎
	第12回　質的研究（4）：データ収集方法及び留意点	杉崎
	第13回　質的研究（5): 分析方法、考察、評価	杉崎
	第14回　看護研究における倫理と評価	大西
	第15回　看護研究の看護実践への適用・プレゼンテーション	大西

評価方法 評価基準	授業参加状況 30%、プレゼンテーション・レポート 70%		
教科書	使用しない	参考書等	・D.F　ポリック＆C.T.ベック著、近藤潤子監訳：看護研究、第 2 版、医学書院、2010. ・前田ひとみ編：看護研究、メディカ出版、2023. ・坂下玲子編：看護研究、医学書院、2022.